

夏期講座はブリヂストン奥多摩園で開催します！

第 58 回夏期講座

「周辺技術を学び、ゴムの可能性を広げよう」

主 催：一般社団法人日本ゴム協会

協 賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本機械学会、日本合成樹脂
(予定) 技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、日本
レオロジー学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会 (順不同)

今年の夏期講座は8月8日(木)・9日(金)の2日間「ブリヂストン奥多摩園」で開催致します。

今回の夏期講座では、「周辺技術を学び、ゴムの可能性を広げよう」というテーマで開催することに致しました。私たちは日々ゴムの基礎・応用研究および製品開発に携わっていますが、ともするとゴムに対する視点が固定化してしまっているのではないのでしょうか。そのような現状を打破し、ゴムに新たな可能性を広げようと思ったとき、必要となるのはこれまで全く思ってもみなかった切り口でゴムと対峙することではないかと考えました。そのような思いをベースに今回の企画を立てました。結果として、非常に多彩な講師陣をお招きすることができました。特別講演では本会元会長の五十野名誉教授にお願いしており、次世代に向けた先達からのメッセージを頂戴できると期待しております。奥多摩の自然の中で、川のせせらぎを聞きながら、そして美味しい酒を交わしながら語りあいたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催日：2024年8月8日(木)・9日(金)

会 場：講 座：ブリヂストン奥多摩園 A 研修室にて対面による開催

アクセス：東京都青梅市二俣尾 1-264

JR 青梅線石神前駅から徒歩 4 分

JR 中央線中央特快で東京駅から 1 時間 28 分

JR 青梅線で立川駅から 39 分

交流会：ブリヂストン奥多摩園食堂

定 員：100 名 定員になり次第締切らせていただきます。

受講料：7月5日(金)まで 会員 29,700 円、会員外 46,200 円、学生会員 5,500 円

シニア 14,850 円 (60 歳以上の正会員)

7月6日(土)以降 会員 35,200 円、会員外 51,700 円、学生会員 5,500 円

シニア 17,600 円 (60 歳以上の正会員)

※賛助会員は 1 口 2 名様まで会員扱いでご受講いただけます。

※消費税とテキスト代を含みます。賛助会員・協賛団体会員は 2 名様まで会員扱いとします。

交流会参加費：4,000 円 (税込)

申込要領：弊会ホームページ (<https://www.srij.or.jp/>) よりお申込みください。

交流会のお申込みは、7月26日(金)までにお申込み下さい。

8月8日(木)の宿泊については、2人以上部屋(相部屋)を準備しております。

※部屋数に限りあり。

※宿泊代金(朝食代含)の6,000円(税込)は受講料とは別に必要になります。

送金方法：銀行振込(みずほ銀行虎ノ門支店(普通) No.1228682 一般社団法人日本ゴム協会)。

開催日前日までにご送金くださいますようお願いいたします(送金手数料は受講者側でご負担ください)。一度ご入金された受講料等は原則、返金いたしかねますので予めご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第 58 回夏期講座係

TEL：03-3401-2957/E-mail：summercourse@srij.or.jp

《プログラム》

日 時	演 題	講 師・座 長
【8月8日(木)】		
12:45~12:50	開講のあいさつ	一般社団法人日本ゴム協会会長 【座長】東京工業大学 赤坂 修一
12:50~13:50	「弾性熱量効果による冷却機構の実現と解決すべき伝熱問題」	東北大学 小宮 敦樹 氏 弾性体が有する弾性熱量効果を用いた冷却機構の実現性を検討する。キーテクノロジーとなる高効率熱輸送について、流体力学および伝熱工学の観点から議論する。
14:00~15:00	「高压流体を利用した高分子成形加工」	広島大学 木原 伸一 氏 CO ₂ 等の高压流体は、高分子を可塑化する等、環境低負荷なサステナブル溶媒である。ここでは、ナノフィラー分散、発泡、脱加硫など高压流体を利用した高分子成形加工について紹介する。 【座長】(株)加藤事務所 加藤 進一
15:10~16:10	「セルロースナノファイバーのゴムへの適用 ~課題と本音~」	レンゴー(株) 土屋 大樹 氏 様々なCNFの特徴紹介とゴムへ適用したときの効果を紹介。さらに研究例の割に社会実装が進まない理由をサプライヤーの立場から本音ベースで提言する。
16:20~17:20	(特別講演1)「高分子リサイクルへの期待と可能性」	東北大学 熊谷 将吾 氏 プラスチック等高分子のリサイクルを取り巻く状況を解説し、サーキュラーエコノミーへの転換に向けたリサイクル技術開発の重要性について、著者の取り組む研究開発を例として紹介する。
18:00~20:00	ENEOS マテリアル プレゼンツ 夏期講座交流会	
		
【8月9日(金)】		
9:30~10:30	「テトラジックリックケミストリーを活用した可逆架橋ゴムの特性と架橋ゴム接着への応用」	【座長】横浜ゴム(株) 川添 真幸 (株)ブリヂストン 小谷 享平 氏 テトラジックリックケミストリーを活用したSBRへの可逆架橋導入手法と、得られた架橋ゴムの特性、ならびに、架橋ゴム同士の接着への応用について紹介する。
10:40~11:40	「NMRの基礎とゴム材料解析への応用」	日本電子(株) 矢澤 宏次 氏 NMRは有機物、無機物、液体から固体まで幅広い材料の化学構造や固体構造、分子運動を解析できる分光法で、ゴム材料解析においても化学組成や架橋構造の解析に欠かせない分析法である。本講演ではNMRの基礎からゴム材料解析への応用まで紹介する。
川口化学工業株式会社 ご提供 ランチ		
13:20~14:20	(特別講演2)「フィラー充填ゴムの非線形粘弾性と網目構造変化」	【座長】(株)ブリヂストン 山口 健 長岡技術科学大学 名誉教授 五十野 善信 氏 新しい実験法を駆使して観測したフィラー充填ゴムの非線形粘弾性をさまざまな網目の形成と変化の観点から整理して議論する。
14:30~15:30	「水素機器用エラストマーの評価と現状」	(一財)化学物質評価研究機構 藤原 広匡 氏 カーボンニュートラル社会実現に当たり、エネルギーキャリアとして有望視される『水素』の使用環境は多様である。貯蔵、運搬、搬送などの場面で多岐に使用される高分子材料は、安全性、安定性が要求される。今回は高压水素環境で使用されるシール部材用エラストマーを重点に、高压ガス特有の評価方法を含め紹介する。
15:30~	閉講のあいさつ	第58回夏期講座運営委員会委員長

※プログラムは一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。



お申込みはこちらのQRコードからお願いいたします。